-「多値論理とVLSIコンピューティング」小特集(英文論文誌D)論文募集 -

多値論理とVLSIコンピューティング小特集編集委員会

システムオンチップ(SoC)やシステムLSI の高機能化，小型化，低消費電力化は，主に設計・製造技術の向上にともなうシステムの極限的微細化・集積化によって実現されてきましたが，微細化のみでは解決が困難な種々の深刻な問題が生じています．この問題に対し，従来の2値に代わる多値ディジタルコンピューティングをはじめとした，従来技術の延長とは異なる新しい概念に基づくVLSIコンピューティングの開拓が望まれております．また，多値論理を利用した論理設計や多値論理代数とその応用，ソフトコンピューティングなど，2値論理の枠組みを超える新しいコンピューティング手法も期待されております．このような背景のもとに，「多値論理とVLSIコンピューティング」小特集号(平成26年9月号)を企画しました．特に，43rd IEEE International Symposium on Multiple-Valued Logic (ISMVL'2013)にて発表された講演論文も含めて，新概念に基づく多値論理とVLSIコンピューティングに関する論文を広く募集します．

1.対象分野
多値論理代数，ファジィ論理，ソフトコンピューティング，量子コンピューティング，論理設計とスイッチング理論，テスト・検証，スペクトラムロジック，新概念VLSIアーキテクチャ，多値VLSIコンピューティング，ナノデバイスベースアーキテクチャなど．

2.論文の執筆と取扱い
通常の英文論文と同一とします．ページ数は，原則として，論文の場合は刷り上がり8ページ，レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします．初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです．標準ページ数を超えると，掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい．詳細はInformation for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html) を御参照下さい．査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合があります．

3.投稿方法
Webによる電子投稿のみ受け付けます．以下の手順で御投稿下さい．
手順 1：https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい．初期投稿時に，編集可能な論文本体(TeX/Word)，図，著者の写真，biography も投稿する必要があります．なお登録時には必ず"Type of Issue (Section)/Category of Transactions"で[Special-LO] Multiple-Valued Logic and VLSI Computingを選択して下さい．[Regular-ED]を決して選択しないで下さい．
手順2：登録時に生成される"Copyright Transfer and Page Charge Agreement"と"Confirmation Sheet of Manuscript Registration"を，論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付，FAX，郵送のいずれかの方法でお送り下さい．これらの書類が期日までに届かない場合，投稿が取下げになることがあります．

4.論文投稿締切日　平成25年11月29日(金)必着

5.投稿書類送付先及び問合せ先
弓仲 康史
群馬大学理工学研究院 電子情報部門
〒376-8515 群馬県桐生市天神町1－5－1
TEL: 0277-30-1790　FAX: 0277-30-1707
E-mail: yuminaka@el.gunma-u.ac.jp

6.小特集編集委員会
委員長：和保 孝夫(上智大)
幹事 ：弓仲 康史 (群馬大)，水木 敬明(東北大)
委員 ：井口 幸洋(明治大学)、上浦 尚武(兵庫県立大学)、夏井 雅典(東北大学)、本間 尚文(東北大学)、
河口 万由香(北海道大学)、笹尾 勤(明治大学)、淡野 公一(宮崎大学)、永山 忍(広島市立大学)

7.付記
＊締切日を厳守して下さい．
＊招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代(別刷50部含む)が必要となります．
＊投稿に際しては，著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません．ただし招待論文に関してはこの限りではありません．必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については，投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい．入会の案内はこちらを御覧下さい．http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html